

各グループの取組と課題

6) 里山和楽会

代表：道満俊徳

山好き・自然愛ある連中が集まり、里山林の活動は11年目を迎えている。当初15名多い時は25名だったが諸事情発生。現在11名で、月2回（催事は別）の活動を良き汗をかいて楽しんでいる。四季折々の変化、植物の凄い成長戦略、圧倒的な数量の土壌生物がまさに地球の掃除屋さんと変化に富んだ自然環境を身近に感じる里山整備保全活動は、当初平均64歳の仲間も75歳になった。

今後、自然環境は放置できな

い環境を小さな力・良き仲間で作業を大いに楽しみ、心豊かにさせてくれる活動を継続したい。

里山和楽会最大の課題：森林環境保持継承頂く方を歓迎。是非一緒に楽しみましょう。

追記：活動契機は平成19年4月、障害者施設「かがやきの森」（地図にはなく自称名）を整備再生・散策道設置・障害ある方の働く場所と森林浴の場など、多くの課題をお持ちの施設長からの依頼でした。



7) 森の仲間

代表：小泉 宏

2006年生環11期のグループ活動で発足しました。当初13名であった会員が現在は43名になりました。

活動の目的は森林浴を介して元気なシルバーの輪を広げることを目指しています。

森の中でフィトンチッドを浴び谷川のせせらぎと野鳥の声を聴きながら歩き心身のリフレッシュを図っています。活動のモットーは無理せず楽しく、歩行距離は約5km以内、標高差約300m以内を目安にしています。例会は月1回、バスツアーは年2回です。

最近の例会は7月度：奈良春日山原始林、10月度例会予定は曾爾高原バスツアーです。

今後の課題は、メンバーの若返りで、新入会員を求めます。



8) 神戸ぴかぴか隊

代表：今井晴美

ボランティア初心者が、地域の清掃などから気軽に始められるのが神戸ぴかぴか隊の活動です。殆どの隊員が、ここを導入口として様々なボランティア活動に発展させています。170余名を抱える当隊は、阪神淡路大震災1.17のつどいや神戸マラソンで、なくてはならない存在となっています。今年は新たに「KOBE ALIVE～神戸新舞～」の沿道整理に参加し、主催者の颯爽JAPAN様には大変感謝されました。今後も必要とされる場があれば、活動の場が広がるかと思えます。町なかで火ばさみ持ってゴミ拾い出来る気さくな人の集まり、神戸ぴかぴか隊が長く続きますよう無理のない活動をして参ります。



9) 創エネ神戸

代表：山田通裕

創エネ神戸は、地球温暖化防止のために、①再生可能エネルギーの普及活動 ②市民共同発電所のモデルとなる「カレッジ発電所」の実現 ③小学生や園児に環境教育・環境学習を行っています。2016年に、創エネ神戸が支援をして、西区のあさひ保育園が設置した太陽光発電が、カレッジ発電所第1号です。続けて第2号を目指して現在活動中です。

また、夏休み工作塾ではソーラーカーの工作を通じて小学生に環境教育を行っています。

課題は、活動メンバーの確保です。

